

国立成育医療研究センターでは下記の研究を実施しております

研究名：妊娠期および産褥期の精神的健康に関する質問紙調査研究

1. 研究の目的

周産期は精神的に不安定が生じやすく、この時期には約 15%の女性が産後うつ病を発症するリスクがありますが、周産期女性の精神的健康の実態や、周産期女性の精神的健康に対する社会的環境の影響は未だに明らかになっていません。周産期全体を通じた女性の精神的健康の実態を社会的環境の影響の検討も含め、正確に把握することで、産後うつ病等の周産期の精神疾患に対する有効な支援方法の模索につながることを期待されます。本研究では診療内で実施した質問紙票や面接記録等の診療情報を用いて周産期女性の精神的健康の実態調査を行い、周産期女性のメンタルヘルスケアの向上に役立てたいと考えています。

2. 研究の方法

- ① 研究対象：当センターにて 2018 年 4 月～2022 年 4 月までに出産した、あるいは出産する予定の 20 歳以上で、乳幼児メンタルヘルス診療科に紹介となった妊産婦の方
- ② 研究期間：倫理審査委員会承認後～2022 年 4 月 12 日
- ③ 研究方法：上記の方を対象として、産後 3 日後に行うエジンバラ産後うつ病自己評価表 (10 項目)、入院時に面談可能な方を対象に実施する Structured Clinical Interview for DSM-IV-TR (SCID)、及びソーシャルサポートなど心理社会的因子についての診療録情報を用いた周産期女性の精神的健康の実態調査を行います。

3. 研究に用いる情報の種類

産後 3 日後に行ったエジンバラ産後うつ病自己評価表 (10 項目)、入院時に面談可能な方を対象に実施した Structured Clinical Interview for DSM-IV-TR (SCID)、ソーシャルサポートなど心理社会的因子についての診療録情報と診療録データ (年齢、分娩週数、子どもの数、パートナーの有無、等) を用います。

※ 患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4. 情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター
名古屋大学医学部
協力施設

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2022年10月31日までに下記の連絡先にお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター こころの診療部 乳幼児メンタルヘルス診療科
岸本真希子

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-5494-7120（内線：7645）

○研究責任者：

国立成育医療研究センター こころの診療部 乳幼児メンタルヘルス診療科
岸本真希子